

地域を育む建築士を目指して

佐賀県建築士会会長 犬塚 敏治



新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、令和元年8月豪雨

の災害復興作業に取り掛かれた矢先に、また、大型台風の連続襲来と停滞型線状降水帯の豪雨に見舞われ、被災さ

れました方々に対して、改めてお見舞い申し上げます。

令和2年は自然災害に追い打ちをかけるように、世界を一瞬にして恐怖に陥れた新型コロナウイルスによる禍に振り回され、現在でも渦中であり、仕事や生活様式まで激変させられ、そんな渦中での新年を迎えることになりました。

こんな世界情勢の中だからこそ、頼れるのは「向こう三軒両隣」から集落、地域へと広がる、日本がこれまで経験

した災害や災難に一体となつて立ち向かう「災害多発国に育まれた国民」の底力を発揮し平常心で過ごせる日本を取り戻す年にしたいものです。

建設関連の関係者の皆様方には、日頃から一般社団法人佐賀県建築士会の事業運営に格別のご協力、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

佐賀県建築士会では、佐賀県と応急危険度判定業務に関する協定を結んで協力体制を構築していますが、佐賀県では毎年襲来する台風、集中豪雨災害等に関する対応に取り組めるよう、県下各地域で活躍している建築士会会員への協力体制の世代交代を考慮し、まちづくり委員会に危機管理部会を設け行動力が期待

できる若手「青年・女性委員」による活動に対して支援をしています。

県民の皆様的身近な地域の中での支援活動をスムーズに進める上で一番大切な事として、建築士会員があらゆる形（大工様・中小工務店の社長様と職員・ハウスメーカーの職員・建設会社役員様と職員・県・市町の技術職員・建築設計事務所所長様と職員・大学、高校、産業技術学院の先生・又、地区民の中には、各々のOBの方）の建築士の人材が身近に存在すること

を、県民の皆様に伝える事が大切と考えています。建築士会の会員でなくても、建築士の資格を持った技術者として専門の業務に携わり経験した事例については、

色々と相談話に乗ってくれると思います。各々の職業柄、専門部門がありますので建築全てに精通しているわけではないですが、その相談相手を探してくれると思います。

以上のように建築に関する職種の方が地域の中に居て、地域活動をしている建築士の方もたくさんおられると思いますので話をしてみてもいいのではないでしょうか。（わからないときは、建築士会の事務局や住宅相談窓口へ電話してみてください。）

新年の挨拶というより、建築士のアピールになつてしまいましたが、様々な災害時に建築士会の会員が活躍しています。

昨年一昨年の集中豪雨災害では、会員自身が被災者であ

りながら、現地へ出向いての住宅相談や市町の相談窓口業務を手伝いました。

「災害は忘れたころにやってくる」は昔の話で、最近では「災害は忘れる暇なくやってくる」と言える時代で、不幸にも被災された時には、各地区の建築士会に建築に関する知識人が、各地域の連絡網に待機していることを思い出してください。

地域の高齢者の方は、建築に関する訪問販売員が営業に見えたら「地元の建築士会に相談してからお願いします」と言つて、連絡先と氏名、会社名を聞いておいて下さい。

今年こそ、「災害のない、コロナ退散の年」になることを祈念して新年のご挨拶とします。

デジタル革新への取り組み

佐賀県建築士事務所協会会長 内田 要



慶びを申し上げます。旧年中は皆様方には当協会の運営・事業の推進にご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

昨年は県内はもとより、国をもゆるがすコロナ禍の中で、ただ々耐える1年でございました。その中でコロナ感染に立ち向かつていただいた関係者の方々に心から感謝申

し上げます。当協会においても、今後もコロナ対策に努めてまいります。

また昨年は、佐賀県より県立学校施設非構造部材点検業務の委託を受け、全会員の協力のもと事業を推進してまいりました。今後もこの組織力を活かして、行政などと共に連携しながら建築コンサルのプロ集団として社会貢献していく所存です。

一方、当協会内に目を向けてみますと、会員の高齢化と若手の業界離れが問題となつております。今後は、1人・2人建築士事務所の実質的な体力アップに向けて、協会よ

り直に具体的援助を行います。また将来的には、新規事務所の起業をお手伝いすることとも考えています。今ある建築士事務所が次世代に継承されるよう、あらゆる手段を講じたいと考えます。

今年はコロナ禍の影響により建築設計業界も大きな転換点にあります。今まで社会から求められているICT、IoT、AI、BIMなどのデジタル革新です。特に2次元設計から技術的に大いに異なる3次元設計（BIM）については、今後、加速度的に進まれ、数年後には実務設計の主流となると考えます。従

って当協会は、率先して協会員へのBIM導入に向けての教育・訓練をすすめていきます。

今後とも協会員の皆様のご意見を幅広く伺いながら、様々な活動を通して建築士事務所協会の地位向上に努めて参りたいと考えておりますので、引き続き協会へのご支援ご協力を宜しくお願い致します。最後に協会員の皆様方のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

